

**(問い合わせ先)**

共通 03-3591-6361(代表)

警備救難部救難課 (人身事故担当)

海浜事故対策官 小西 (内線:5902)

03-3581-2828(夜間直通)

交通部安全課 (船舶事故担当)

課長補佐 田脇 (内線:6302)

03-3591-2776(夜間直通)



平成23年4月28日

海上保安庁

## マリレジャー活動に係る安全推進活動の実施について

海上保安庁では、東日本大震災後、被災地における災害救助活動等に総力をあげて取り組んでいるところですが、これから本格的なレジャーシーズンを迎え、全国的にマリレジャーの活発化に伴う事故等の発生が懸念されることから、事故の未然防止及び死者・行方不明者の減少を図るため、ゴールデンウィーク及び夏季を中心にマリレジャー活動に係る安全指導等を、下記のとおり重点期間及び重点実施事項を設定し、安全推進活動を実施することとしています。

### 記

#### 1 重点期間

マリレジャー活動が活発化する下記期間において、特に重点をおいたマリレジャー集中安全推進活動を行います。

(1) ゴールデンウィーク安全推進活動期間

4月29日(金)から5月8日(日)の10日間

(2) 夏季安全推進活動期間

7月1日(金)から8月31日(水)の2ヶ月間

#### 2 重点実施事項 (別添参照)

(1) プレジャーボート等の船舶事故対策

船舶事故隻数の最も多いプレジャーボート等について、レジャースポットやマリーナの定期巡回による訪船指導及び海難防止講習会の開催等により安全意識の高揚並びに「ライフジャケットの常時着用」、「防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保」、「118番の有効活用」の3つを基本とする自己救命策確保の周知啓発を図ることにつき、関係機関等と連携し、機関故障海難、ミニボートに対する安全指導、遊漁船等に対する安全対策、花火大会における船舶事故対策に重点をおき、安全啓発活動を実施します。

## (2) マリンレジャー海浜事故対策

マリンレジャーに関する海浜事故は、7月下旬～8月中旬に最も死者・行方不明者が多いことから、同期間中は特に**若年齢層対策**、**釣り中の海中転落事故対策**に重点をおき、事前に警察・消防等関係機関と連携し、管理者である地方公共団体等に事故防止対策を講じるよう働きかけるとともに、地元関係者に対し、安全啓発活動を行います。

## マリンレジャー活動に伴う安全推進活動重点実施の概要

### (1) プレジャーボート等の船舶事故対策

船舶事故隻数の最も多いプレジャーボート等について、レジャースポットやマリーナの定期巡回による訪船指導及び海難防止講習会の開催等により安全意識の高揚並びに「ライフジャケットの常時着用」、「防水パック入り携帯電話等の連絡手段の確保」、「118番の有効活用」の3つを基本とする自己救命策確保の周知啓発を図ることに加え、関係機関と連携し次の対策に取り組みます。

#### 機関故障海難・ミニボートに対する安全指導

管区部署においては、訪船指導、安全講習会の開催を通じ、見張りや早期避航の徹底と、MICSの活用等により「水路状況」「航行警報」「気象・海象」等の安全情報を入手するとともに、海域の自主ルール等、各地域において留意すべき情報を把握するよう周知し、事故防止と自己救命策確保の啓発活動を行います。

また、海難種類にて最も多い機関故障を原因とする海難防止を図るため、発航前点検の適切な実施や、ミニボート事故防止のため転覆防止に関する注意事項や航行水域の遵守その他基本的な海上交通ルール・マナーについて安全指導を行います。

#### 遊漁船等に対する安全対策

多数の利用者が乗船する遊漁船、ダイビング船等は、一度、海難が発生すると多数の死傷者が発生するおそれがあり、特に安全確保が重要であることから、運航者に対して、安全運航の遵守やライフジャケットの装着等、救命浮環の準備等、事故を未然に防止するための安全啓発活動を強化推進していきます。

#### 花火大会における船舶事故対策

花火大会における事故は、負傷者発生率が高く、夜間航行に不慣れなことや花火大会の海域に関する情報収集不足が主な原因となっていることから、花火大会が開催される海域を管轄する海上保安部署において、主催者が策定する安全対策計画についての必要な助言・指導、周辺マリーナ等を通じプレジャーボート運航者に対し、「事前の水路調査」「四囲の状況確認と把握」「見張りや早期避航」につき周知し、夜間安全運行の徹底を図るほか、大会当日に巡視船艇を配備して、大会開始前の日没までの間に、指導注意喚起等集中的な対策を講じます。

## (2) マリンレジャー海浜事故対策

マリンレジャーに関する海浜事故は、7月下旬～8月中旬に最も死者・行方不明者が多いことから、同期間中は特に若年齢層対策、釣り中の海中転落事故対策に重点をおき、事前に警察・消防等関係機関や、管理者である地方公共団体等連携協力し、事故防止対策を確立するための連絡調整会議を開催するとともに、地元関係者に対し、安全啓発活動を行います。

### 若年齢層対策

若年齢層の事故者数は、遊泳中の事故者全体の約3割を占めていることから、主に小中学校において児童・生徒等を対象とした安全講習会等を開催するなどして、離岸流（岸から沖へ発生する、潮の流れ）に対する知識の付与、および自己救命策の確保、並びにペットボトル・クーラーボックス等身の回り品を活用した救助手法について周知啓発します。

### 釣り中の海中転落事故対策

釣り中の海中転落者のライフジャケット着用率は、24%と依然低い状況にあることから、磯場、防波堤を巡回し、自己救命策の確保、気象・海象の早期把握、事故発生時の迅速な救命活動を可能とする他者の目の届く場所での行動、さらにライフジャケットの着用重点をおいた啓発活動を行います。

また、地域の事故発生状況を踏まえ、荒天が予測される場合における事故多発地域の巡回の実施等、適時適切な事故防止指導を行います。

### 海水浴場管理者に対する指導・助言関係機関との連携

本格的な海水浴シーズンを迎えるにあたり、事前に警察・消防等関係機関と連携し、管理者である地方公共団体に対し、離岸流・海中転落の危険を周知する看板、立ち入り禁止区域への侵入防止策、救命設備の設置等、事故防止対策を講じるよう働きかけるとともに、地域関係者と積極的に連携し安全啓発活動を行います。

## [参考資料参照]

### 参考資料1

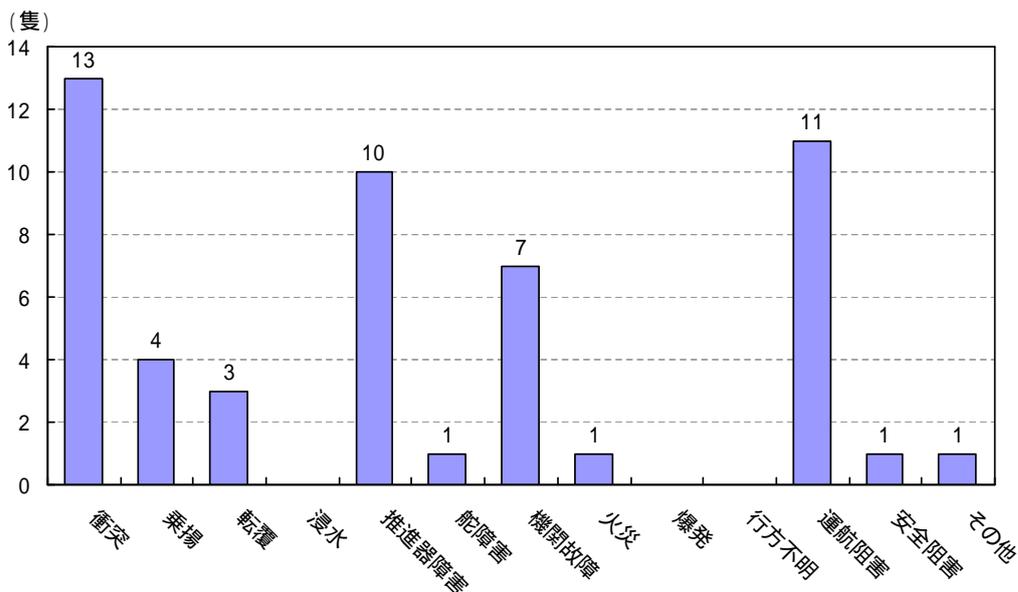
- ・ 平成22年ゴールデンウィーク安全推進活動期間に発生した船舶事故
- ・ 平成22年花火大会観覧に関連した船舶事故

### 参考資料2

- ・ 平成22年ゴールデンウィーク安全推進活動期間に発生したマリンレジャーに伴う人身事故
- ・ 過去5年ライフジャケット着用者の死亡率

平成 22 年ゴールデンウィーク安全推進活動期間に発生した船舶事故

	衝突	乗揚	転覆	浸水	推進器障害	舵障害	機関故障	火災	爆発	行方不明	運航阻害	安全阻害	その他	合計
貨物船	3	3												6
タンカー	4													4
漁船	5	3	1	1			1	1			1	1	4	18
プレジャーボート	13	4	3		10	1	7	1			11	1	1	52
その他	3	1					1							5
合計	28	11	4	1	10	1	9	2	0	0	12	2	5	85



平成 22 年 花火大会観覧に関連した船舶事故

	衝突	乗揚	推進器障害	火災	運航阻害	計
旅客船	1	1				2
プレジャーボート	11	6	4		2	23
その他	1			1		2
計	13	7	4	1	2	27

平成 22 年ゴールデンウィーク安全推進活動期間に発生したマリレジャーに伴う人身事故

	磯遊び中	遊泳中	釣り中	ウエイクボード中	スキューバダイビング中	ボードセーリング中	その他	合計
事故者数	3	4	6	2	2	1	1	19
死亡者数	1	2	3	0	0	0	0	6

